

市民文教常任委員会会議記録（概要）

令和7年2月10日（月）

開 会（午後1時30分）

【議 事】

○特定事件「学校教育について」

・所沢市における特別支援学級の充実について

植竹委員長

当委員会では令和5年7月5日に「特別支援学級等設置校等の当市の状況についての概要説明」を受け、当市の特別支援学級についての調査、研究を開始しました。令和6年1月19日の委員会では特別支援学級に精通している坂本條樹氏を参考人として招き、審査を行いました。また、市内2か所の特別支援学級の現地調査や、兵庫県芦屋市等の他市事例を視察してきました。加えて、2月8日に開催しました政策討論会では、議員間の闊達な意見交換により、認識の確認と共有が図られました。

谷口委員

これまでの委員会での審査の内容を踏まえ、議論を深めるため、自由討議をすることを提案する。

植竹委員長

ただいま、谷口委員より自由討議の申入れがありました。自由討議を行うことに、御異議ありませんか。

（異議なし）

【自由討議】

植竹委員長

先日、政策討論会を終えて、課題の認識について明確にしたい。2年間で様々な取組をしてきた中で、所沢市の特別支援教育については、場当たり的になっているのではないかと思う。取組の基となる計画を策定についてはどう考えるか。

花岡委員

先進事例である日野市の視察を経て、計画立てた特別支援学級の充実を進めていくべきだと思う。政策討論会でも委員の総意だったと感じたので、そういった意味でも盛り込むべきだと思う。

大久保委員

2月8日の政策討論会で、日野モデルについて触れていた。PDCAサイクルと言われるくらい、プランが非常に大事なので、まずは計画を策定することが必要だと思う。

植竹委員長

日野市では独自に計画を立てて、充実した特別支援学級の取組が行われていたことを学び、当市はその点が劣っていると感じる。また、委員会では静岡市へ視察に行った際に、巡回型の特別支援学級の取組を学んだが、当市ではこの取組がなされていないことについて疑問を感じる。

神戸委員

アウトリーチ支援を進めるべきだと思う。親御さんの負担を考えると、

最寄りの学校に支援があるということはありがたいことだと思うので、教員の負担はあると思うが、教育現場でのアウトリーチ支援を検討してほしい。

植竹委員長

様々な事情があって通学できない児童生徒への支援が必要だと思う。先日の政策討論会でも話題に出ていたが、インクルーシブ教育ということで、通常学級と連携した教育についても必要だと思う。

長岡委員

自分が小学校に通っていた時は通常学級に障害のある同級生も一緒に学んでいたのですが、そういった部分も残しつつ、通常学級と特別支援学級の児童生徒が共に学ぶ場があるとよいと思う。

青木委員

長岡委員の意見に同意する。やはり通常学級と特別支援学級の連携をしたほうがよいと思う。

植竹委員長

他市の事例からも、当市のインクルーシブ教育の必要性があると感じる。また、政策討論会のアンケートにもあったが、教員の人材育成、スキルアップ、人材不足といった現場の声をいただいたが、それについての認識を伺いたい。

神戸委員

小学校、中学校、特別支援学校それぞれの教諭がいるが、通常学級を受

け持つ場合でも分かりやすい授業づくりのための研修、研さんが大切だと思ひ、今まで以上に特別支援学校教諭免許を取りやすいような制度の整備が必要だと思ひ。

植竹委員長

特別支援学校教諭免許の取得率は非常に低いことは政策討論会の中でも話題に出ていた。

石原委員

免許の取得率については驚いている。特別支援学級の担任以外が免許を取得することで、特別支援教育への理解が進むと思ひるので、児童生徒にとっても、学校にとってもよいことだと思ひるので力を入れてほしい。

植竹委員長

政策討論会では、市長部局と教育委員会との連携の必要性についても話題になっていたが、特別支援教育を進めていく中での組織の在り方についての認識を伺いたい。

花岡委員

日野市の例にもあるが、特別支援教育は教育と福祉が連携する必要があると思ひするため、教育委員会と福祉部門が一体となって進めていく必要があると思ひるので、提言の中に盛り込んでいく必要があると思ひ。

谷口委員

先進自治体を視察し、政策討論会で議論してきた中で当市の特別支援教育を的確に推進するために、司令塔のような組織が必要だと思ひるので、専

門チームのような組織を立ち上げながら、望ましい特別支援教育を推進していく必要があると思う。

【自由討議終了】

植竹委員長

それでは、本日出されました意見と政策討論会で確認できた事項を踏まえ、委員会として提言案を作成したいと思います。提言案をまとめるにあたり、今後の進行を確認するため、委員会を休憩し、協議会を開催したいと考えますが、これに御異議ありませんか。

(委員了承)

植竹委員長

正副委員長案を作成するため、暫時休憩いたします。

休 憩 (午後 1 時 4 0 分)

再 開 (午後 1 時 5 0 分)

植竹委員長

正副委員長案をお配りしてよろしいでしょうか。

(委員了承)

植竹委員長

正副委員長案に御意見はありますか。

(意見なし)

植竹委員長

それでは提言を読み上げます。

【提 言】

所沢市における特別支援学級の充実に向けた提言

所沢市では、障がいのある児童生徒が将来の社会的自立に向けて、一人一人に合った学校教育に取り組み、そして、子ども達の力を最大限伸ばすことができるよう、特別支援学級の設置が進められている。市民文教常任委員会では、特別支援学級に在籍する児童生徒数が増加傾向にあるということ、また保護者からのニーズが多様化している現状から、特別支援学級の充実について、令和5年に兵庫県芦屋市を、令和6年に東京都日野市、静岡県静岡市を視察し、埼玉県和光市の難聴特別支援学級及び当市における特別支援学級の現地調査を行ってきた。さらに、閉会中の審査において、参考人として所沢市の特別支援教育に精通する坂本條樹氏を委員会に招き審査を行った。その後、政策討論会を開催した結果、当委員会として、継続した特別支援学級の増設と教育環境の充実が必要と考え、今後の所沢市の取組に対し、下記のとおり提言する。

記

1、特別支援学級に関する計画策定及び計画に基づく取組を検討するこ

と

2、ニーズの多様化に伴い巡回型といったアウトリーチ支援を検討する

こと

3、通常学級と連携した教育環境の充実を推進すること

4、教員の人材育成とともに特別支援学校教諭免許状取得の推進強化に

努めること

5、新たに特別支援学級に関する専門チームの設置に努めること

以上

植竹委員長

委員会としてこのとおり提言することよろしいですか

(委員了承)

植竹委員長

それでは、来る2月定例会において常任委員長報告を行うことになりま
すので、よろしく申し上げます。

それではこれもちまして、本日の審査を終了いたします。

散 会 (午後1時54分)